

2022年6月14日

各 位

四国新幹線整備促進期成会

2022年度「四国新幹線整備促進期成会」総会の 書面決議結果について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当期成会の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2022年度「四国新幹線整備促進期成会」総会を下記のとおり開催（書面開催）いたしましたので、その結果を次のとおりお知らせいたします。

敬具

記

○ 審議事項

- (1) 第1号議案 2021年度 事業報告ならびに収支決算(案)
 - ・原案のとおり承認されました。
- (2) 第2号議案 2022年度 事業計画ならびに収支予算(案)
 - ・原案のとおり承認されました。

<添付資料>

- ・2021年度事業報告ならびに収支決算
- ・2022年度事業計画ならびに収支予算

以 上

<お問い合わせ先>

四国新幹線整備促進期成会
代表事務局 四国経済連合会 吉原
TEL : 087-851-6032 FAX : 087-821-9384
E-mail : yoshihara@yonkeiren.jp

2021年度 事業報告・収支報告



2022年5月

四国新幹線整備促進期成会



さあ、次は四国の番だ。

1. 事業概要
2. 要望活動
3. 調査事業
4. 広報活動
5. 講演会
6. 決算報告

- ▶ 昨年度に引き続き、コロナ禍により第4回東京大会や地元での大規模シンポジウムは開催できなかったものの、各地での要望活動や、オンラインを活用した講演会などの普及啓発活動を実施。
- ▶ 残念ながら目標としていた2022年度での法定調査は当初予算段階では実現しなかった。
- ▶ 四国アライアンス地域経済研究会との協働により、「新幹線とまちづくり調査」を実施。新幹線開業を控える北陸や長崎といった先進地視察を行い、新幹線がまちづくりにもたらす影響を実感。
- ▶ 昨年度開設したTwitterに加え、本年度よりYouTubeチャンネルを開設し、SNSによる情報発信を強化。また、高校生向けに講演会を行うなど、若年層の理解促進活動に取り組んだ。

2 要望活動①

中央要望の実施

- ▶ 8月及び11月に財務省・国交省・自民党への要望活動を実施
※新型コロナウイルスの状況に鑑み、8月の要望活動は要望書の持参・郵送のみ



自民党 高市政調会長への要望
(2021年11月5日)

基本計画路線合同決起大会

- ▶ 四国新幹線整備促進期成会が発起人となり、同じ基本計画路線としてフル規格新幹線の要望活動等を展開する各地の団体と整備計画への格上げを求める声を一つにし、国に訴える機会とするため、基本計画路線合同決起大会を予定していたが、諸事情により延期となった。
- ▶ 当会以外の参加予定団体は以下のとおり。
 - ・ 羽越・奥羽新幹線建設促進同盟会（会長：吉村美栄子 山形県知事）
 - ・ 山陰縦貫・超高速鉄道整備促進市町村会議（会長：深沢義彦 鳥取市長）
 - ・ 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備促進会議（会長：上定昭仁 松江市長）
 - ・ 東九州新幹線鉄道建設促進期成会（会長：河野俊嗣 宮崎県知事）

2 要望活動② 各地における要望実績

【四国】

- ・四国知事会（5/20）
- ・四国商工会議所連合会（6/18）
- ・明日の地域づくりを考える四国会議（9/1）

【徳島県】

- ・徳島県（5/26,6/9）
- ・徳島県商工会議所連合会（12/7）
- ・徳島経済同友会（8月）
- ・徳島県町村会（11/17）
- ・徳島県町村議会議長会（11/17,11/26）

【香川県】

- ・香川県（5/19,6/2,11/29,1/27）
- ・香川県商工会議所連合会（8/1・10）
- ・香川経済同友会（8/26）
- ・香川県商工会議所連合会、香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、
香川県商店街振興組合連合会（12/8）
- ・香川県建設業協会・香川県商工会議所連合会（9/16,12/8）

【愛媛県】

- ・愛媛県（6/1）
- ・愛媛県新幹線導入促進期成同盟会（7/26）
- ・愛媛県商工会議所連合会（12/24）

【高知県】

- ・高知県（5/12,13,14,19,27）
- ・土佐経済同友会（9/2）

3

調査事業

- ▶ 地域の議論と関心の喚起を図るため、四国アライアンス地域経済研究会との協働により、各県都における新幹線駅の具体的イメージの提示や、新幹線を中心としたまちづくり・公共交通のあるべき姿を提示した「新幹線とまちづくり調査」を実施した。（取りまとめ公表は次年度）

調査詳細は別紙参照

報告書構成

- 新幹線駅とまちづくり**
- 四国 4 県都における新幹線駅の検討**
- 新幹線と二次交通**
- 新幹線整備と未来の四国**

おわりに

Point 1
候補地の
3Dパース作成



Point2

北陸（福井・富山）や
西九州（長崎）の
先行事例調査

Point3

四国の新幹線整備後の
二次交通のあり方を提示

Point4

新幹線の整備効果を
まちづくりや産業等の
観点から県別に検討

4 広報活動① YouTube

YouTube

- ▶ 「四国新幹線整備促進期成会」チャンネルを開設。チャンネル登録者数約200名（2022年3月末時点）。
- ▶ オンラインセミナーや、四国の新幹線について紹介した「つなぐんの四国の新幹線教室」などを配信。



【つなぐんの四国の新幹線教室 各タイトル】

- | | |
|-------------------|--------------|
| 第1回：四国の新幹線構想 | 第2回：瀬戸大橋の構造 |
| 第3回：時間短縮効果 | 第4回：新幹線の整備方法 |
| 第5回：四国の新幹線にまつわる誤解 | |

- ▶ 2021年11月14日、愛媛県新幹線導入促進期成同盟会の主催により、「それいけ！四国新幹線」が開催された。期成会より石原俊輔氏（四国経済連合会 特任理事）が出演。
- ▶ アイドルグループSTU48の瀧野由美子さん、ダーリンハニーの吉川正洋さんをゲストに四国の新幹線の概要等をクイズ形式で紹介した。
- ▶ 再生回数は2.2万回を超え、イベント後はTwitterのフォロワー数が約100名増加するなど大きな効果があった。



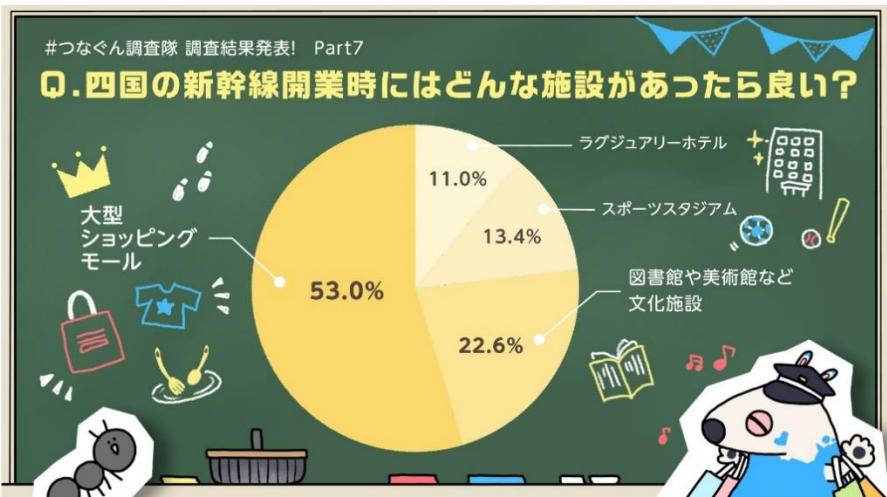
4 広報活動② Twitter

Twitter

- ▶ 2020年8月にTwitterアカウントを開設し、若年層を中心とした情報発信を実施。
- ▶ 本年度の一年間でフォロワー数は約350人増加し、現在約2,700名（2022年3月末時点）。
- ▶ 第7・8回目となるアンケートを実施（昨年度第1～6回を実施）。結果は以下の通り。

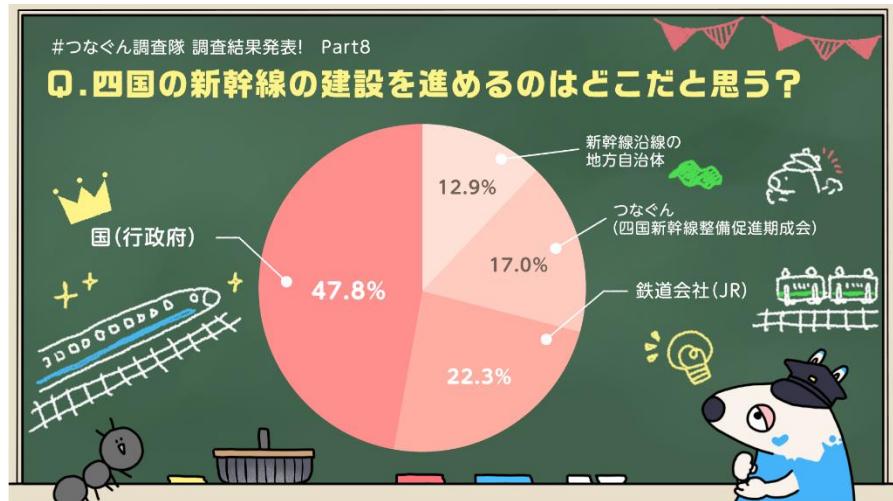
第7回（2022.2.25～3.4、回答数9,165票）

- 設問：四国の新幹線開業時には、どんな施設があつたら良いと思いますか？



第8回（2022.3.11～18、回答数7,241票）

- 設問：四国の新幹線の建設を進める（建設費を負担する）のは、何処だと思いますか？



5

講演会

- ▶ 新幹線導入に向けた地元機運の醸成のため、オンラインも活用しつつ、複数回にわたり講演会を実施した。
- ▶ 高校生への講演では、北陸新幹線の開業により観光客を増やした金沢市と高松市を比較し、四国的新幹線が実現すればまちづくりに繋がることや、実現のためには地域全体の盛り上がりが必要であることを訴えた。

講演実績

- 三木高校（2021.5.20）
- 高松高校（2021.6.15）
- 高松商業高校（2021.7.9）
- 香川経済同友会 四国新幹線推進特別委員会（2021.9.17） ※YouTube配信
- 高知ライオンズクラブ（2021.10.21） ※オンライン
- 秋田県羽越・奥羽新幹線導入促進期成同盟会（2022.1.17） ※オンライン
- 四国の経済同友会合同「第8回四国新幹線に関する検討会」（2022.3.23）



高松高校での講演



高松商業での講演

6 収支報告

収入の部

(単位：円)

科 目	予算 (A)	決算 (B)	増減 (B-A)	概要欄
繰入金	5,197,169	5,197,169	0	—
年度負担金	4,580,000	4,580,000	0	—
四県連携費	2,617,000	2,617,000	0	徳島県654,250 香川県654,250 愛媛県654,250 高知県654,250
雑収入	0	83	83	預金利息
合 計	12,394,169	12,394,252	83	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算 (A)	決算 (B)	増減 (B-A)	概要欄
事業費内訳	東京大会	2,000,000	27,790	▲ 1,972,210 1/26東京大会中止
	講演会・セミナー	1,000,000	220	▲ 999,780 オンライン開催により減
	調査事業	4,000,000	4,000,000	0
	広報・啓発活動	3,000,000	2,980,560	▲ 19,440 広報啓発媒体作成、HP保守運営 等
事業費計	10,000,000	7,008,570	▲ 2,991,430	
事務費・通信費	200,000	185,637	▲ 14,363	
次年度繰越	2,194,169	5,200,045	3,005,876	
合 計	12,394,169	12,394,252	83	

新幹線が都市を変える ～新幹線と四国の中づくり調査～

－概要版－

2022年6月

四国アライアンス地域経済研究会



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 調査の背景と目的

◆調査の背景

新幹線の実現は、四国へのアクセス向上、魅力的で活気にあふれる「まちづくり」、地域活性化のために不可欠である。

しかしながら、四国の住民の中には、未だに新幹線の実現に懐疑的な声や否定的な意見、認識不足による誤解が少なくないのも事実であり、さらなる理解促進、機運醸成を図るための努力が必要である。

◆調査の目的

各県で、さらなる議論と関心を喚起するため、四国の新幹線を具体的なイメージで提起することが重要と考え、

①県都のまちづくりの観点から四国の新幹線駅はどこに置くべきか

- ・ 北陸と九州の新幹線駅と周辺まちづくりの事例
- ・ 四国 4 県都の新幹線駅候補地の検討とまちづくり

②新幹線効果を県内に波及させるために何が必要か

- ・ 四国 4 県都を中心とした二次交通の現状評価と将来像
- ・ 新幹線の実現による各県の産業振興や観光振興、防災面への効果など

について検討した。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 調査の主な実施内容および構成

◆北陸と九州の新幹線駅と周辺まちづくりの事例調査

1. 北陸新幹線沿線都市へのヒアリング
 - ・ 実施時期：2021年11月29日～12月1日
 - ・ 訪問都市：福井市、富山県高岡市、富山市
2. 西九州新幹線沿線都市へのヒアリング
 - ・ 実施時期：2021年12月14日～15日
 - ・ 訪問都市：長崎市、長崎県大村市

◆四国4県都における新幹線駅候補地の検討

- ・ 交通結節点としての位置づけやまちづくりの観点、将来性などを考慮して選定した。高松駅は、香川経済同友会による提言「四国新幹線開業を見据えたまちづくりの議論を～四国新幹線（新）高松駅構想について～」に基づき、候補地を選定した。
- ・ 新幹線駅を具体的にイメージできるよう、イメージ図（パース）を作成した。

◆新幹線と二次交通

- ・ 新幹線時代を見据えた二次交通の将来像として、回遊性の向上や観光列車の運行、交通決済手段の拡充、MaaSの導入・普及などを検討した。

◆新幹線整備と未来の四国

- ・ 新幹線整備と各県の将来像について、4県それぞれの特性を踏まえつつ、まちづくりや住民生活、観光振興、産業振興、防災などの面から検討した。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 1.1 新幹線駅とまちづくり 富山駅

富山駅高架下で路面電車の南北接続



資料：富山市活力創造部

富山市、市内電車環状沿線地区開発の概要



資料：富山市活力創造部提供資料を基に作成

【富山駅の概要】

- 新幹線駅は、在来線の富山駅に併設。
- 富山駅の高架下に路面電車が移設され、新幹線の改札口から約40mの短い距離で乗換が可能。高架下には東西南北の自由通路も整備。
- 2020年3月には、南北に分断されていた「富山ライトレール」と「富山地方鉄道軌道線」が富山駅の高架下停留所で接続。南北を移動する利便性が大きく向上。

【コンパクトシティへの取り組み】

- LRTの運行や市内電車の環状線化を進める。
- 新幹線開業に伴う都市開発が、富山市が計画的に進めてきた公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトシティ化を後押しし、効率的な都市機能の集積化が進んでいる。

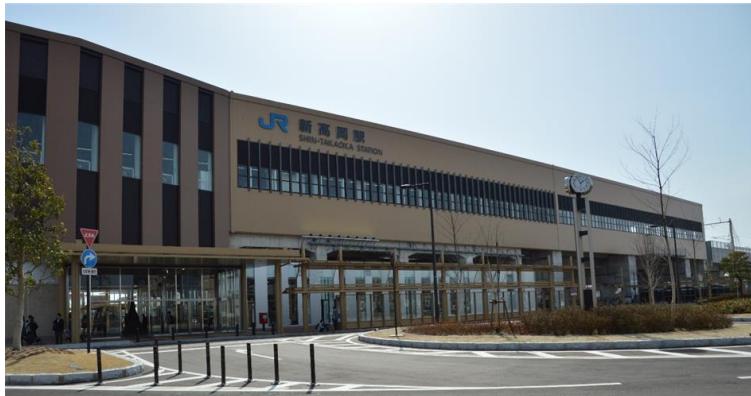


SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 1.2 新幹線駅とまちづくり 新高岡駅

新高岡駅(北口)の外観



産業団地「ICパーク高岡」の外観(赤線の囲み部分)



写真提供（2点とも）：高岡市

【新高岡駅の概要】

- 北陸新幹線 富山・金沢間にできた新駅。在来線の城端線と交差し、城端線側にも新駅が設置された。
- 新高岡・高岡間には、バス路線（往復77本/平日）が整備され、約800台収容の6つの市営駐車場も完備。
- 駅南口を出ると北陸最大級のショッピングセンター「イオンモール高岡」（延床面積約14万m²）がある。

【新幹線開業効果】

- 歴史遺産を活かした観光振興を後押し。
- 北陸自動車道高岡砺波スマートICに隣接し、新駅から車で約10分（約9km）の好立地の産業団地「ICパーク高岡」（約135,000m²）を2019年3月に分譲し、約2年で完売した。

➤ 1.3 新幹線駅とまちづくり 福井駅

福井駅東口(正面：新幹線駅舎、右側の赤い建物がえちぜん鉄道福井駅)



福井駅前電車通り北地区A街区再開発イメージ図



資料：福井市「第2期福井市中心市街地活性化基本計画」に加筆

【福井駅の概要】

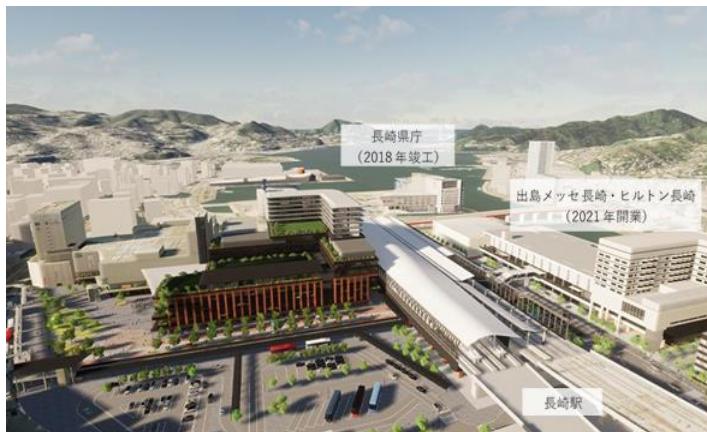
- 北陸本線（在来線）駅に隣接して設置。福井駅付近連続立体交差事業の一環で、私鉄のえちぜん鉄道も高架化して移設。市街地の一体化が進む。
- 駅広場の整備、福井鉄道駅前線の軌道を延長し、福井駅西口駅交通広場に停留場を移設。

【新幹線開業に向けてまちづくりの進展】

- 福井鉄道とえちぜん鉄道の相互乗り入れの実施で移動利便性が向上している。
- 福井駅周辺地域を都市再生緊急整備地域に指定。県・市が土地区画整理事業と大規模な市街地再開発を進める。
- 戦後何十年も進まなかった土地区画整理事業や中心市街地開発事業が大きく進展している。

➤ 1.4 新幹線駅とまちづくり 長崎駅

長崎駅周辺再開発後のイメージ図



資料：長崎MIRAIISMホームページ

「長崎スタジアムシティプロジェクト」イメージ図



資料：ジャパネットホールディングス

【長崎駅の概要】

- 2022年9月開業予定の西九州新幹線の長崎駅は、在来線の長崎駅に併設される。
- 駅周辺の開発案件として、東口に商業施設やホテル、オフィスなどで構成される「新長崎駅ビル(仮称)」を新設。西口では、コンベンションホールやイベント・展示ホールなどを備えたMICE施設「出島メッセ長崎」や、長崎初の外資系ホテル「ヒルトン長崎」が開業。

【新幹線開業に向けてのまちづくり】

- 地元民間資本による複合施設「長崎スタジアムシティ」の整備（2024年開業予定）や、中心市街地・臨海部などで再開発事業が進む。
- 長崎市のまちづくりは「100年に一度の変化のとき」を迎えている。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 1.5 新幹線駅とまちづくり 新大村駅

新大村駅の外観



写真提供：大村市

新大村駅周辺整備事業の外観



資料：大村市

【新大村駅の概要】

- 西九州新幹線の新大村駅は、並行する大村線の諏訪駅と竹松駅に間に新設される駅に併設。
- 新大村駅は、長崎空港から約4km、長崎自動車道の大村ICから約1kmに位置する交通の要衝。

【新幹線開業を見据えたまちづくり】

- 空港、高速ICと新幹線駅がコンパクトに包含された高い交通利便性を活かし、相乗効果の創出を目指す。
- 大村市は、「大村市新幹線大村駅周辺地域まちづくり計画」の中核をなす「新大村駅周辺整備事業」により、高い交通利便性を活かした企業誘致、定住を目的に新駅周辺の基盤整備を実施。

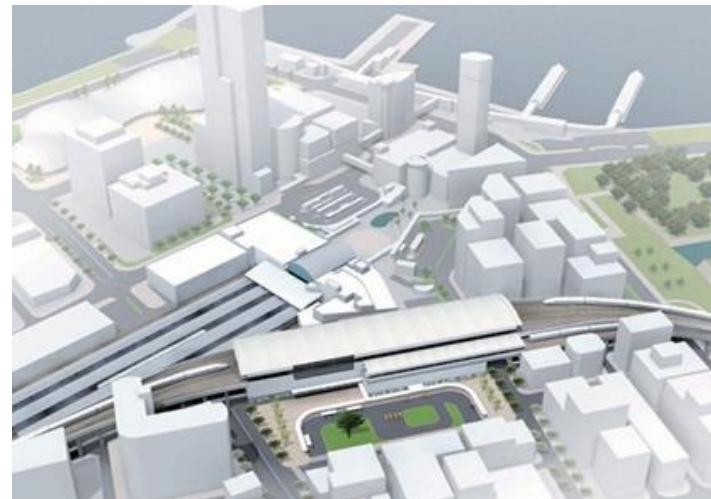
➤ 2.1 四国4県都における新幹線駅の検討 高松駅－①高松駅付近

高松駅周辺地図



資料：GoogleMapを基に百十四経済研究所所作成

高松駅付近 新幹線駅イメージ図



資料：香川経済同友会「四国新幹線(新)高松駅構想について」

【高松駅の概要】

- 高松駅の南側に併設させる案。
- 高松駅は、在来線、私鉄、路線バス・高速バスの停留場、港などが隣接する四国最大級の交通結節点となっている。
- 駅周辺のサンポート地区には合同庁舎やホテル、オフィスビルなどが立地。大学やアリーナの新設計画もあり、来訪者増が期待される。

【将来性】

- 徳島方面に延伸させるため、新幹線駅は、現在の高速バスターミナル付近に設置。
- 新幹線の定時・高速・大量旅客輸送のメリットを最大限に活かすため、鉄道、バス、船も含め、多様な交通手段が有機的につながるよう、高松駅前広場の再開発が重要になる。

2021年2月12日付香川経済同友会による提言「四国新幹線開業を見据えたまちづくりの議論を～四国新幹線（新）高松駅構想について～」に基づき、4地点を候補地として選定



SHIKOKU ALLIANCE
四国アライアンス

▶ 2.1 四国4県都における新幹線駅の検討 高松駅－②栗林駅付近

栗林駅周辺地図



資料：GoogleMapを基に百十四経済研究所作成

栗林駅付近 新幹線駅イメージ図



資料：香川経済同友会「四国新幹線(新)高松駅構想について」

【栗林駅の概要】

- ・ 高松駅から南に2kmに位置する、現在の高徳線栗林駅に併設させる案。
- ・ 1970年代当時の本州四国連絡橋公団でもこの付近での新駅設置が検討されていた。
- ・ 琴電琴平線に栗林駅を新設・結節した総合駅として、移動利便性を向上させる。

【将来性】

- ・ 徳島方面への延伸は高徳線と平行して路線を整備する。
- ・ 単なる乗換駅にしないためにも、新駅周辺に人々が滞在し交流することができる施設の整備や、高松市中心部(サンポート地区)とのアクセス強化が期待される。

2021年2月12日付香川経済同友会による提言「四国新幹線開業を見据えたまちづくりの議論を～四国新幹線（新）高松駅構想について～」に基づき、4地点を候補地として選定

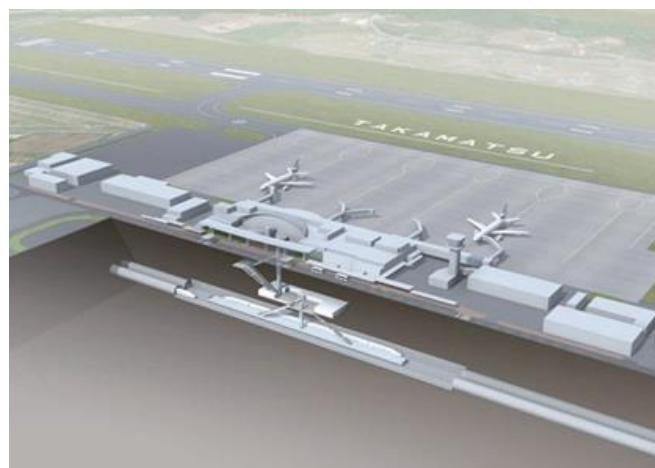
➤ 2.1 四国4県都における新幹線駅の検討 高松駅 -③伏石駅付近、④高松空港地下

伏石駅付近 新幹線駅イメージ図



資料：香川経済同友会「四国新幹線(新)高松駅構想について」

高松空港地下 新幹線駅イメージ図



資料：香川経済同友会「四国新幹線(新)高松駅構想について」

【伏石駅の概要】

- 高松駅から南に約5kmに位置する琴電の伏石駅付近は高松自動車道の高架下に設置されているため、新幹線駅は、高速道路上、または高速道路に平行して整備する。

【高松空港地下の概要】

- 高松駅から南に約15kmに位置する、高松空港の地下に新幹線駅を設置する。

2021年2月12日付香川経済同友会による提言「四国新幹線開業を見据えたまちづくりの議論を～四国新幹線（新）高松駅構想について～」に基づき、4地点を候補地として選定



四国アライアンス

➤ 2.2 四国4県都における新幹線駅の検討 松山駅

松山駅周辺地図



資料：GoogleMapを基にいよぎん地域経済研究センター作成

松山駅 新幹線駅イメージ図



【松山駅の概要】

- 連続立体交差化工事が進められている予讃線松山駅の東側のJR敷地に乗り入れることを想定。
- 愛媛県新幹線導入促進期成同盟会は、松山駅への新幹線駅併設に向けた要望を行っている。
- 県内各地への二次交通の拠点となるほか、松山空港や松山観光港とのアクセスも良好。

【将来性】

- 四国新幹線の基本計画にある豊予海峡ルート・大分方面への延伸は、松山駅から南側方向に線路を伸ばすことで対応が可能。



SHIKOKU ALLIANCE
四国アライアンス

➤ 2.3 四国4県都における新幹線駅の検討 高知駅－①高知駅付近

高知駅周辺地図



資料：GoogleMapを基に四銀地域経済研究所作成

高知駅 新幹線駅イメージ図



【高知駅の概要】

- 高知駅の南東側に併設し、東から土讃線と並行して乗り入れる案や、北側に併設し、北から乗り入れる案などを想定。
- 高知駅は土讃線や特急列車の核となる駅であるほか、路面電車・路線バス・高速バスのターミナルが整備。

【将来性】

- 新幹線駅を核として、各交通機関との連携強化が進み、交通結節や県内観光地へアクセスする拠点としての機能向上が図られる。
- 大都市圏からの観光客やビジネス客が増加するほか、通勤圏拡大による高知県内への定住や人材の広域的な活躍の機会が増加する。

➤ 2.3 四国4県都における新幹線駅の検討 高知駅－②後免駅付近

後免駅周辺地図



資料：GoogleMapを基に四銀地域経済研究所作成

【後免駅の概要】

- ・ 後免駅北側に併設し、北東から土讃線と並行して乗り入れる案を想定。
- ・ 土讃線や特急列車の停車駅、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線の始発駅。路面電車や空港も近く、複数の交通手段が集積している。
- ・ 周辺には企業団地（南国オフィスパークなど）や学術研究施設（高知高専、高知大学など）などが集積している。

【将来性】

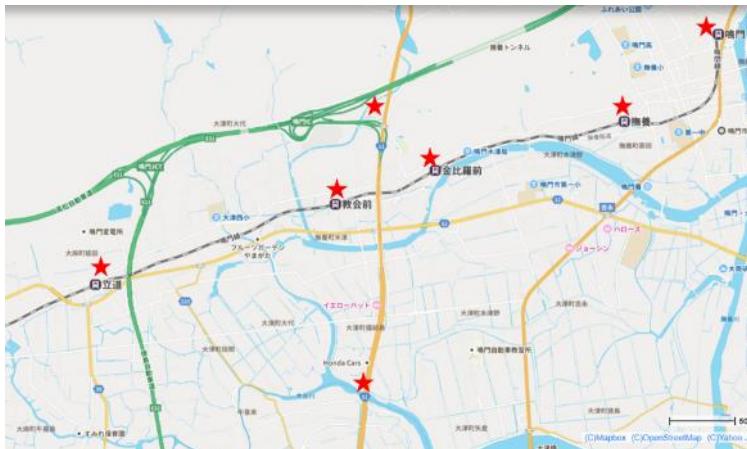
- ・ 新幹線開業効果を高知県全域に広げていくためには、県都である高知市、及び高知県西部地域へのアクセス向上のため、高知駅に匹敵するターミナル機能の整備が必要。
- ・ 産官学連携による、産業・教育・研究各分野での新しい潮流が誕生することが期待できる。



四国アライアンス

➤ 2.4 四国4県都における新幹線駅の検討 徳島県内における新幹線駅の候補地-①鳴門エリア

鳴門エリアにおける新幹線駅候補地



資料：Yahoo地図を基に徳島経済研究所作成

鳴門エリア 新幹線駅イメージ図



【鳴門エリアの概要】

- ・ 国道11号と鳴門線が交差する箇所を中心とする「鳴門エリア」において駅設置を検討。用地確保や開発後の人への吸引力という観点で適地。
- ・ 鳴門海峡、大塚国際美術館、四国霊場第一番札所靈山寺など県内観光の中心地。
- ・ 徳島市との二核化が実現し、県全体としての発展にも寄与することが期待できる。

【将来性】

- ・ 新幹線により関西や四国各地との移動時間短縮で、通勤・通学圏が大きく拡大する。人口の維持のみならず、流入・増加につながる。
- ・ 四国島内の高松・松山・高知だけではなく、紀淡海峡ルートを通じて関西国際空港を利用する観光客やビジネス客、また岡山・広島に加えて、豊予海峡ルートによる九州との交流増加も期待できる。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 2.4 四国4県都における新幹線駅の検討 徳島県内における新幹線駅の候補地-②徳島阿波おどり空港

徳島阿波おどり空港 周辺図



資料：Yahoo地図を基に徳島経済研究所作成

【徳島阿波おどり空港の概要】

- ・ 徳島阿波おどり空港の付近に新幹線駅の設置を検討。
- ・ 大阪ベイエリアにある5空港・7滑走路との連携により「ストック効果」を最大限に発揮する。
- ・ 空港周辺には、大塚製薬工場、パナソニックエナジー、サンスター、新明和工業等の工場などがあり、新駅が設置されると、商業・サービス施設のほか、製造業関連の企業誘致・進出を後押しする。

【将来性】

- ・ 徳島阿波おどり空港および新幹線駅が四国島内における強力な交通ハブ機能を有するようになり、空港周辺の様々な開発が進み、まち・地域の様相が大きく変わる。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 2.4 四国4県都における新幹線駅の検討 徳島県内における新幹線駅の候補地-③徳島駅

現在の徳島駅



【徳島駅の概要】

- ・ 徳島駅に新幹線駅を併設することを検討。
- ・ 駅やその周辺は地域の中心拠点エリアとなっており、さらなる発展が期待できる。
- ・ 徳島駅および駅前バス乗り場は高徳線・徳島線・牟岐線や路線バスターミナルで、徳島県全域へのアクセス拠点の役割を持つ。
- ・ 長年検討が続いてきた在来線高架事業の実現にも大きく近づく。

【将来性】

- ・ 徳島駅併設においても、通勤・通学圏の県外への拡大、人口の流入・増加、紀淡海峡ルートによる関西国際空港利用の観光客やビジネス客の大幅な流入増加、四国島内、中国、九州との新たな交流も生まれる。
- ・ 徳島駅周辺、徳島市全体や自治体のみならず、徳島県全体への経済効果も期待できる。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 3.1 新幹線と二次交通－香川県

- ・ 鉄道、バスなどの既存の交通インフラを効果的に融合させ、二次交通の利便性向上を目指す。
- ・ ネットワーク再構築による回遊性向上に加え、ICカード等による運賃支払を拡充し、ストレスフリーの乗り継ぎを実現できれば、利便性がさらに向上することが期待できる。
- ・ 現状の公共交通の維持ではなく、県全体で公共交通ネットワークを再構築することが重要である。
- ・ 香川県の各地域における都市計画区域マスタープランでは、各地域の特色や都市機能の集積状況拠点が担う役割などを踏まえ、「広域拠点」「地域拠点」「コミュニティ拠点」の三層の集約拠点を形成することを計画している。集約型都市構造において、公共交通機関はまちづくりと一緒に、集約拠点を有機的に連携させる役割が期待される。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 3.2 新幹線と二次交通－愛媛県

- ・ 新幹線の松山乗り入れを見据え、松山駅や松山市駅を中心に、JRと私鉄、鉄道とバスなどの連携に加え、自転車や徒歩でも移動が便利なインフラ整備やネットワーク構築が求められる。
- ・ 利用客の利便性向上につながる交通決済サービスを検討・実現する。
- ・ 県内外からの交通結節点である松山駅や松山空港、高速バスのバス停などと、しまなみ海道や県内主要観光地、大規模集客施設、各市町の市街地エリアとのアクセス向上が必要である。
- ・ 山間部や離島を抱える愛媛では、将来を見据え、自動運転車やグリーンスローモビリティ（電動低速車）など、新たなモビリティサービスの導入が望まれる。
- ・ 従来型の二次交通の発想を捨て、交通事業者と行政、利用者、周辺産業などが幅広く連携したMaaS（マース：Mobility as a Service）によって、新幹線開業効果を県内に波及させることが期待される。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 3.3 新幹線と二次交通－高知県

- 路線バスの利用者減少に伴い、地域住民の生活路線維持のための補助金は年々増加傾向にある。そこで、持続可能な公共交通ネットワークの構築のため、路線バスは基幹道路やスーパー、病院などの停留所を中心に運行し、他の地域は予約制の乗合タクシーを走らせることで、地域内をきめ細かく運行する「コミュニティ交通」が求められる。
- 高知県では全国相互利用交通系ICカードが利用できない。当該ICカードやクレジットカード決済などの対応により交通決済手段を拡大し、地域住民だけでなく、県外客や訪日客の利便性も高める必要がある。
- 地域住民の生活路線の維持と併行して、例えば観光客の利便性を向上させる周遊促進策を実施し、県内の隅々まで、新幹線開業効果を実感できるようになることが期待される。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

➤ 3.4 新幹線と二次交通 – 徳島県

- これまで「次世代地域公共交通ビジョン」に基づき利用者が減少する公共交通の維持・充実を図ってきたところであり、新幹線を見据えては、
 - ① 県民生活の利便性確保し、公共交通の存続・維持を図る。
 - ② 公共交通を中心とする二次交通の充実度は、新幹線開通効果を大きく左右する。
- 以上の2つの視点を県民・行政・交通事業者すべてが持ち、施策を充実させていく必要がある。

➤ 3.5 新幹線時代の四国の二次交通のあり方

- 新幹線効果を広く四国一円に波及させるためには、新幹線停車駅からのシームレスな移動環境が必要である。新幹線時代を見据え、二次交通にMaaSの考え方方が求められる。
 - ① エリアや事業者にとらわれない、広範性や利便性の高い運賃決済方法
 - ② 無人走行・自動運転車やBRT（バス・ラピッド・トランジット（Bus Rapid Transit）など、新たなモビリティサービスの導入



➤ 4 新幹線整備と未来の四国

新幹線開業に伴う効果を各県の特性に応じて検討した。

【香川県】

- ・ 産業：MICEの誘致・開催
- ・ 観光：瀬戸内海の多島美やアート、四国遍路などを訪れる訪日外国人観光客の誘客効果
- ・ 人口：若い人材の県外流出の抑止
- ・ まちづくり：土地区画整理事業や再開発などの進展

【愛媛県】

- ・ 東予：製造業を中心とした企業活動の活発化
- ・ 中予：県都・松山の都市機能の高度化と中心市街地の活性化
- ・ 南予：二次交通の充実による観光振興・一次産品の輸送に新幹線を活用（貨客混載）

【高知県】

- ・ 産業：一次産品の輸送（貨客混載）、新たな農業労働力の確保
- ・ 観光：関西圏や中国地区からの誘客増加
- ・ 県都の中心市街地活性化：図書館やホール、百貨店などの活性化
- ・ 防災：国土強靭化に大きく寄与

【徳島県】

- ・ 観光：観光の多角化に求められるアクセス手段の多様化
- ・ 産業：交通アクセス向上による産業構造の重層化・高度化
- ・ 地域づくり：サテライトオフィスの誘致、徳島市の中心市街地活性化の実効性を向上



➤ おわりに

- 北陸や九州の新幹線沿線都市は、新幹線の開業で大きな変貌を遂げている。四国の現状の都市機能や将来の発展性は、人口規模や大都市からの距離などの諸条件をみても、新幹線の有無によって、明らかに劣後している。
- 地方創生が言われて久しいが、地方創生とは地域間競争に他ならない。単に「自然が豊かな四国」とか「歴史文化あふれる四国」だけでは、人や産業を四国に呼び込むことには限界がある。
- リニア中央新幹線が大阪延伸する2037年以降、3大都市圏を内包した「スーパー・メガリージョン」と呼ばれる超巨大都市圏が誕生した暁には、国内での人流・商流圏域から、四国は完全に外されてしまうのではないか危惧される。
- 四国の新幹線は、将来にわたって持続的な発展が遂げられるのかどうかを左右する、まさに四国が生き残るための「装置」である。



SHIKOKU ALLIANCE

四国アライアンス

2022年度 事業計画・収支予算



2022年5月

四国新幹線整備促進期成会



さあ、次は四国の番だ。

1. 2022年度事業計画の概要
2. 事業内容
 - ① 要望活動
 - ② 『四国的新幹線とまちづくり』調査結果の活用
 - ③ 広報活動
3. 収支計画

1 2022年度事業計画の概要

- ▶ 当期成会は、2017年7月の結成から5年が経過した。この間、中長期目標「リニア中央新幹線が新大阪まで延伸される2037年を一つのターゲットとして四国的新幹線の開業を目指す」の実現に向け、四国各県の自治体や経済界が幅広く連携し、中央要望や広報啓発に取り組んできた。
- ▶ これにより、基本計画路線のなかにあっては最も活発な活動を展開する地域として、中央において広く認識されるところとなっているが、未だ整備計画への扉は開かれていない。また、四国の住民の中には未だにその実現に懐疑的な声や否定的な意見、認識不足による誤解が少くないのも事実であり、さらなる理解促進、機運醸成を図るための努力が必要である。
- ▶ 2022年度においては、これまでの活動に加えて
 - 他地域における推進団体との協働等による整備計画への格上げに向けた早期の法定調査を求める中央要望強化
 - 「新幹線とまちづくり調査」結果のPR及び活用、各種講演会やSNSを活用した対面・オンラインの併用による広報活動の実施により、幅広い世代へのアプローチを行い、地元機運の更なる醸成により、当期成会活動のステップアップを目指す。

- ▶ 引き続き、四国的新幹線の整備計画格上げに向けた法定調査の実施などについて、国など関係機関への要望活動を精力的に展開する。
- ▶ 基本計画路線の整備計画格上げに向けて取り組む全国各地の団体との協働による決起大会・要望活動を行う
- ▶ また、広く国政レベルでの理解促進にも努める。
- ▶ 新型コロナウイルスの影響により、昨年度見送りとなった第4回東京大会を開催し、首都圏での理解促進に努める。
【2022年6月7日（火）開催予定】

2 事業内容 ②調査結果の活用

「新幹線とまちづくり調査」結果のPR等



- ▶ 2021年度に四国アライアンス地域経済研究会との協働により実施した「新幹線とまちづくり調査」の結果を活用し、講演会やSNS上でPRを行う。
- ▶ 調査結果の概要版パンフレットを作成し、イベント等で配布し、理解促進に努める。



2 事業内容 ③広報活動（1）

「つなぐん」着ぐるみ製作プロジェクト

- ▶ 四国的新幹線応援キャラクター「つなぐん」の着ぐるみを制作する。
- ▶ 制作費の一部は、クラウドファンディングにより調達する予定。
- ▶ クラウドファンディングを通じて、四国的新幹線の広報啓発を行う。
- ▶ 完成した着ぐるみはイベント等で活用する。

つなぐん のプロフィール

- ・新幹線の車掌を夢見る、アリクイの男の子。
- ・アリクイだけどアリさんは食べません。アメちゃんが大好き。
- ・駅で困っている人を見かけると、アメちゃんをプレゼント。
- ・お腹の模様は大好きな四国の模様。
- ・性格はのんびり屋さんですが、新幹線を見るとスゴく元気に!!
- ・ゴロンと寝る姿はまるで新幹線。まさに夢見る姿です。

四国新幹線応援キャラクター

つなぐん



2 事業内容③ 広報活動（2）

講演会等の開催

- ▶ オンライン併用型の講演会やセミナー等を開催する。
- ▶ 企業や団体、学校等からの依頼があれば出張講演を行う。



SNS

- ▶ 若年層をターゲットに、TwitterやYouTubeによる情報発信を行う。
- ▶ SNSを活用したプロモーションを行う。



ノベルティ作成

- ▶ ノベルティを作成し、イベント等での配布やクラウドファンディングのリターン等に活用する。

3

収支計画

収入の部

(単位：千円)

科 目	2021年度予算(A)	2022年度予算(B)	増減 (B-A)	概要欄
前年度繰越	5,197	5,200	3	—
年度負担金(会費)	4,580	4,580	0	4県900／商工会議所連合会100 四経連100／商工会連合会30 中小企業団体中央会30 経済同友会30／観光協会30
四県連携費	2,617	2,500	▲ 117	徳島県625／香川県625 愛媛県625／高知県625
合計	12,394	12,280	▲ 114	—

支出の部

(単位：千円)

科 目	2021年度予算(A)	2022年度予算(B)	増減 (B-A)	概要欄
事業費	東京大会	2,000	2,000	0 会場費等
	講演会・セミナー	1,000	1,000	0
	調査費	4,000	0	▲ 4,000
	広報・啓発活動	3,000	5,000	2,000 着ぐるみ作成、SNSコンテンツ制作等
(事業費計)	10,000	8,000	▲ 2,000	
事務費・通信費	200	200	0	
次年度繰越	2,194	4,080	1,886	
合計	12,394	12,280	▲ 114	